

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

当社は、サプライチェーン全体の付加価値向上と共存共栄を目指し、取引先企業とのパートナーシップ構築を推進します。その一環として、以下の取組を実施してまいります。

① 取引先との共栄関係の構築

中小企業を含むすべての取引先との対等かつ公正な取引関係を築き、信頼と協力に基づく長期的な関係を目指します。取引先との共栄関係の構築 中小企業を含むすべての取引先との対等かつ公正な取引関係を築き、信頼と協力に基づく 長期的な関係を目指します。

② 価格転嫁の円滑化

原材料費やエネルギーコスト等の上昇に対し、適切なコスト転嫁が可能となるよう、対話を重視した価格交渉を実施します。

③ サプライチェーン全体での競争力強化

デジタル技術の活用や業務改善提案を通じて、取引先とともに生産性向上・業務効率化に取り組めます。

④ 知的財産・ノウハウの保護

取引先の技術情報・営業秘密を適切に保護し、不正利用や不当な開示を行わないよう配慮します。

⑤ 持続可能な社会の実現に向けた連携

脱炭素化や人権尊重といった社会課題に対しても、取引先と連携し、責任あるサプライチェーンの構築に貢献します。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組めます。

① 価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者と少なくとも年に1回以上の協議を行うとともに、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう、十分に協議して決定します。その際、「労務費の適切な転嫁のため

の価格交渉に関する指針」に掲げられた行動を適切にとった上で決定します。また、原材料費やエネルギーコストの高騰があった場合には、適切なコスト増加分の全額転嫁を目指します。なお、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形等で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、支払サイトを 60 日以内とします。

③知的財産・ノウハウ

「知的財産取引に関するガイドライン」に掲げられている「基本的な考え方」や、「契約書ひな形」を踏まえて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

2025 年 7 月 24 日

株式会社 KOIYAL 代表取締役 荒川 善大